

見てみよう！歴史災害記録と旬のあいち

July 2019 vol.63

July						
S	M	T	W	T	F	S
	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30	31			

きじょう 亀城公園

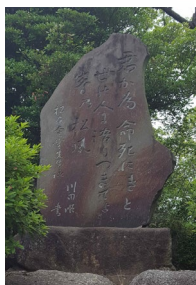
所在地：刈谷市城町

交通：名鉄三河線「刈谷市」駅 北西 約 1km

亀城公園は、かつて刈谷城の本丸があった場所に整備された公園で、城下の雰囲気を感じる一帯には櫓や門なども残されています。幕末に京に上り天誅組として活躍した松本奎堂や穴戸弥四郎のゆかりの場所でもあり、奎堂や弥四郎の墓や、歌碑なども見ることができます。また、周辺には刈谷球場や刈谷市体育館が整備され、2019年3月には刈谷市歴史博物館も開館し、多くの利用者が訪れています。

この亀城公園の南西の河川敷に、伊勢湾台風追憶碑が残されています。昭和34年9月26日に襲来した伊勢湾台風では、名古屋市南部や海部地域、知多半島が被害の中心となりましたが、刈谷市においても、高潮による逢妻川の堤防の決壊や、元刈谷流新田、小垣江御茶屋下一帯における冠水などの被害があり、死者14人、罹災者15,030人、全壊家屋209戸、半壊家屋1,934戸、床上浸水192戸、床下浸水502戸を数えました。

伊勢湾台風追憶碑は、災害復旧に努めた刈谷市水防・消防団の功績を称えとともに、このような惨状を繰り返さない決意を新たにするために、昭和36年に刈谷市によって設置されたものです。碑には、「昭和三十四年九月二十六日夜の



松本奎堂歌碑



伊勢湾台風追憶碑

伊勢湾台風では刈谷市も暴風雨の中心に入り甚大な災害を受けたので直ちに災害救助法の発動を懇請しこれが罹災者の救助と被害の復旧に全市を挙げて努力した 中でも海岸堤防の決壊には関係地域の住民に勿論刈谷市水防団、刈谷市消防団が連日出動して仮締切工事に挺身し」と当時の状況が記されており、その功勞により、建設大臣や愛知県知事らから表彰状や感謝状の榮譽を拝受したことが記されています。また、結びには、「ここに受賞を記念するとともに伊勢湾台風を追憶して再び災害を繰返さぬ市民の誓の表徴としてこの碑を建立するものである」と建立目的が述べられています。

伊勢湾台風追憶碑の隣には、台風による浸水位を記録した石碑も残されています。浸水位にあたる位置を示す線が刻まれたこの碑には、堤防決壊70ヶ所、浸水面積845ha、被害総額30億円など、被害の記録も記されています。

また、付近には伊勢湾台風で倒れた椎の木が植えられています。この木は、かつては公園の西側の堤に生育していたもので、脇にはこれを説明した碑があり、「目通しで二〇メートルのこの大木が倒されたあの台風の風圧の凄烈さを想起して来らざるを待まず待つあるを待むの格言を刈谷市民の肝に刻み」と市民に向けた意識啓発がなされています。



上：浸水位を記録した碑
下：椎の木を説明した碑
(河川ネット HP より)



◆ 災害にまつわる碑や史跡には、実際にその地域で起こったことが記録されているだけでなく、当時の人たちの思い（二度と被害を繰り返さないように、など）が込められています。碑や史跡の前では、災害が実際にこの地域で起こるということを実感していたくとも、そうした先人たちの声に耳を傾け思いを巡らせ、身の回りの備えにつなげ、これからの防災に活かしてください。

◆ 亀城公園の周辺には…

● 誓満寺・専称寺

所在地：刈谷市小垣江町

交通：名鉄三河線「小垣江」駅 北西 約 400m

「刈谷市史」には、昭和 20 年（1945）三河地震の際には、半潰家屋が多かったことが記されています。



このうち小垣江では被害が大きく、誓満寺（写真）、専称寺をはじめ全壊 100 軒、半壊多数あったことが記されています。

● 超円寺

所在地：刈谷市小垣江町 交通：名鉄三河線「小垣江」駅 北 約 0.7km

「愛知県歴史全集 寺院篇」において、「庫裏は昭和二〇年の三河地震後、現住職の手で再建されている」とされており、三河地震で庫裏に被害があったことが読みとれます。

◆ 詳細な地図は『歴史地震記録に学ぶ 防災・減災サイト』（<http://www.pref.aichi.jp/bousai/densho/index.html>）をご覧ください。

★ 刈谷万燈祭

刈谷市を代表する天下の奇祭・万燈祭は、刈谷市銀座にある秋葉社の祭礼です。火難防除・町内安全を祈願し、毎年 7 月の最終土曜日・日曜日（令和元年は 7 月 27 日、28 日）に開催され、10 万人以上が訪れます。

万燈とは、竹と和紙で作られた張子人形を色鮮やかに彩色したもので、歌舞伎絵や武者などをかたどっています。大きなものでは高さ約 5 メートル、幅約 3 メートル、重さ約 60 キロにもなり、祭ではこれを若衆が一人で担ぎ、笛や太鼓のお囃子に合わせて舞を披露します。



Aichi Now HP より

1 日目の「新楽」では氏子 7 町に市内の企業や地区の万燈が加わり、10 数基の大万燈と多数の子ども万燈が市内を練り歩きます。2 日目の「本楽」では、氏子 7 町の万燈が秋葉社の境内で舞を奉納します。

● ブレイクタイム ●

♪ カリアンナイト

カリアンナイトは、刈谷駅周辺の飲食店を専用のチケットを使いながら飲み歩くイベントで、初夏と秋の年 2 回開催されています。（2019 年秋は 10 月 29 日開催予定）

1 枚 800 円（前売りは 700 円）のチケットで、各店舗で飲み物と食事が楽しめます。秋の開催はハロウィーンに合わせて毎回仮装がテーマになっており、仮装を楽しむ大勢の参加者で刈谷駅周辺が賑わいます。



◆ この地域の災害に関する碑・史跡、資料・体験談集、地域に残る古文書、研究資料、郷土史研究者・団体などの情報がありましたら、gensaian2014@gmail.com まで情報をお寄せください。

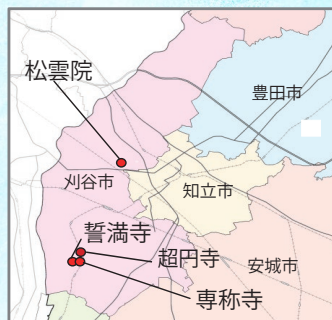
◆ 県内の歴史地震記録をホームページで紹介しています。各地の碑や史跡等にご興味をお持ちいただけましたら、『歴史地震記録に学ぶ 防災・減災サイト』（<http://www.pref.aichi.jp/bousai/densho/index.html>）をぜひご覧ください。

（発行：減斎の会・名古屋大学減災連携研究センター 令和元年 7 月）

● 松雲院

所在地：刈谷市恩田町

交通：名鉄名古屋本線「一ツ木」駅 南 約 1.5km



「愛知県歴史全集 寺院篇」には、昭和 20 年（1945）三河地震で、鐘楼堂が倒れたとの記載があります。



あいちの農産物

夏祭りや縁日に登場する夏の風物詩・スイートコーンは、愛知県では東三河地域を中心に栽培され、全国でも有数の産地となっています。



愛知県園芸農産課 HP より

おいしいものを選ぶには、皮が緑色で濃く、ひげが黒褐色で縮んでいるものが良いとされています。ひげは粒に繋がっているため、ひげが多いほど粒が多くなります。収穫直後から糖分が減っていくため鮮度が重要で、購入したらなるべく早く調理して食べることがポイントになります。

